

平成22年度 第3回 CCC 政治グループ運営委員会 議事概要

- I. 日時 : 2010年11月29日(月) 10:00~12:00
II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者 : 萩原委員、川島委員、吉岡アドバイザー
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

・授業デザインに関して、社会が大学に求めていることがらを十分に意識し、5年後以降を視野に入れて大胆なイメージを作り上げる必要があるという提起がなされた。高等教育のあり方について、大学の主体的な取り組みがなされないと、大学のカリキュラム等についての大学外からの発言が強まり、大学の自治ひいては大学の存在意義自体が疑われることになる、社会に対する批判的な能力が失われると社会自体の発展可能性が制限されることになる、昨今の就職問題も高等教育のあり方という視点からとらえるべきだ、等の意見があった。

・学生の学習意欲を高めるために、学生が学びを自ら作り出し、理解したことがらを発表するような機会を作ることが大切である。学生が市民社会の一員として社会に関与するという視点から、社会に向けて発表し社会からの反応をうるような仕掛けを考えるべきである。その際、報告・発表の場を作り出すこと自体を教育プログラムに入れることが効果的であろう。専門教育が狭い専門性ではなく多様な視点にひらかれたものになるためにも、社会性のある報告会を企画することに意味がある(学園祭で報告する、報道関係者にも公開する、インカレで連携するなど)。

・公開性を拡大するために、インターネットは有効である。複数の大学間のゼミの発表の場を、オーソライズされたサイトとして構築することが考えられる。その際、個々の大学を超えた私情協のような組織が関与しうる。

・政治学的なセンスは、成熟した市民社会を担う人間を作り出すために不可欠であり、今後の教養の基礎をなすべき分野である。政府のみならず、企業をはじめとする社会の諸組織が、多様性を生み出すために多様な様態の支援、とりわけ経済的支援を行なうよう働きかけていかなければならない。

・委員から、時間配分、掲示板利用とグループワーク、主題設定、基本資料リソースについて意見が示された(資料参照)。

・委員から、基幹科目の授業ノートのWEB公開、プレセミナーの併設、アカデミック・ライティング/プレゼンテーション、ICT利用学習環境の整備についての意見が示された(資料参照)。

・以上の意見をもとに意見交換が行なわれた。大きな問題としては、科目数、卒業単位数、総定員枠など、学士教育制度の大枠について、欧米の大学のありかたを含め、将来に向けた抜本的な検討を行う必要がある。留学やインターンシップなどの学びのチャンスを生かす制度設計が必要となろう。

・プレセミナー、サブゼミを形成することは有効である。その場合、教室数の不足の解消が必要となる。また、昔は学生が自発的に展開していたサブゼミや読書会は、これからは大学が設定する必要があるが、一度設定すると学生が自主的に動かし始めることが期待できる場合が多い。

- ・講義形式（座学型）授業の活性化が重要である。

多人数の講義形式授業であっても、学生が何らかの作業を行なうことで、学びが深まると考えられる。グループを作ってグループごとの授業の振り返りを Web にのせるなどの方法によって、学びの持続化をはかる必要がある。ネット上にファシリテーターをおくことで、座学を充実させることも考えられる。

また、講義の場合、特に学生集団のどのレベルに焦点を合わせて講義をするのかが問題となる。

- ・ゼミナール、少人数演習の場合、ゼミに参加しない学生をどうするか、ゼミの選別から外れた学生をどうするかが問題となる。

- ・「政治学教育における学士力の考察」の5つの到達目標に対応した授業形態は、年次進行に対応している。その際、講義とゼミの組み合わせが重要な課題となる。上記のように、サブ・システムをつくることで、学生のインセンティブを作り出すことができるのではないか。

また、成績評価において、日常的な発表を成績評価に組み入れる仕組みをつくることも必要であろう。

- ・日常的なことがらのなかに、権力、正統性など政治的な問題を読み取る訓練を、初年次の段階で組み込むことが考えられる（例えば小説を政治学的な概念をつかって論じる）。学んだばかりの新しい概念を使ってみたいという意欲を利用して、さまざまな問題を論じる機会をつくる。

講義と平行してネット上にグループ討議の場をつくりだし、政治学的な概念と社会現象、社会問題との関連付けを行なわせるなどの試みを行なう。

- ・次回には、各委員が到達目標について授業デザインを考えてくる

V. 次回の開催日程： 2011年1月31日（月）10:00～12:00